



SAMS Information

The University of Tokushima Graduate School, Institute of Health Biosciences,
Support Center for Advanced Medical Sciences (SAMS)

No. 71
2013/2/14

第86回 HBS研究部 先端医研テクニカルセミナー

PyroMarkQ24システムを用いたメチル化・遺伝子変異解析について

総合研究支援センター 先端医療研究部門では、皆様の研究にお役に立つようなテクニカルセミナーをシリーズで開いております。

今回は、このたび導入されることになりましたQIAGEN社のPyroMarkQ24（Pyrosequencing法に基づくリアルタイムシーケンサー）をいち早くご紹介いたします。CpGメチル化定量解析のアプリケーションを中心に、システム原理やSNP/変異のアプリケーションも交えてPyroMarkQ24システムについてお話しいただきます。皆様のご参加をお願いいたします。

日 時	： 平成25年2月27日（水）16：00 ～ 17：00
場 所	： 第一カンファレンス室（医学部基礎A棟1階西）
講 師	： 嶋多 涼子 株式会社キアゲン パイロシーケンス担当

プログラム

16：00 ～ 16：05	はじめに	先端医療研究部門 部門長 佐々木卓也
16：05 ～ 17：00	PyroMark Q24システムを用いたメチル化・遺伝子変異解析について	嶋多 涼子

概 要

QIAGEN社のPyroMarkQ24は、Pyrosequencing法に基づくリアルタイムシーケンサーです。定量的に塩基配列を決定できる特徴から、1つのシステムで様々な用途に対応できるマルチアプリケーションシステムです。対応アプリケーションとして ①CpGメチル化定量解析、②変異の定量解析、③未知配列のショートシーケンス解析と大きく3つが挙げられます。

CpGメチル化とは、塩基配列の変化を伴わずに、遺伝子の発現を制御するエピジェネティクス機構の一つであり、癌を中心とした遺伝子疾患や発生・再生など幅広い分野で研究が進められていますが、PyroMarkシステムは、その高い定量性を生かして、このCpGメチル化の高精度な定量解析において非常に注目されています。



そこで、今回のセミナーでは、CpGメチル化定量解析のアプリケーションを中心に、システム原理やSNP/変異のアプリケーションも交えてPyroMarkQ24システムについてご紹介をします。